



青森県感染症発生情報 (2025年第8週)

I 第8週の発生動向 (2025/2/17~2025/2/23)

1. 水痘については、東地方+青森市保健所管内の定点当たり報告数が**注意報レベル**となりました。
2. 伝染性紅斑については、五所川原保健所管内の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となりました。また、弘前、三戸地方+八戸市、上十三及びむつ保健所管内で**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、三戸地方+八戸市保健所管内の定点当たり報告数が前週から大きく増加し、警報の開始基準値(20.0)に近づいていますので、石けんを用いた手洗いによる手指衛生の徹底をお願いします。
4. 百日咳については、第2週以降、複数の保健所管内からの報告が続いています。

II 第8週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

■ は警報、■ は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	21	1.75	32	2.67	17	1.42	30	4.29	53	5.89	5	0.83	158	2.72	-98
	新型コロナウイルス感染症	52	4.33	74	6.17	70	5.83	37	5.29	79	8.78	26	4.33	338	5.83	-4
小児科	RSウイルス感染症	1	0.14	3	0.38	11	1.57					1	0.25	16	0.43	-2
	咽頭結膜熱	1	0.14	1	0.13	5	0.71	3	0.60			1	0.25	11	0.30	1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.29	17	2.13	4	0.57	19	3.80	3	0.50			45	1.22	9
	感染性胃腸炎	27	3.86	24	3.00	99	14.14	49	9.80	30	5.00	9	2.25	238	6.43	58
	水痘	8	1.14	2	0.25	2	0.29					1	0.25	13	0.35	9
	手足口病	2	0.29	1	0.13	1	0.14			1	0.17			5	0.14	0
	伝染性紅斑	8	1.14	10	1.25	22	3.14	14	2.80	10	1.67	27	6.75	91	2.46	19
	突発性発しん	5	0.71			1	0.14	2	0.40					8	0.22	5
	ヘルパンギーナ															-1
	流行性耳下腺炎			1	0.13									1	0.03	0
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎							1	1.00					1	0.10	1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											6	6.00	6	1.00	0
	無菌性髄膜炎															0

感染症の窓

梅毒は、梅毒トレポネーマによる細菌性の性感染症です。梅毒にかかると、性器や口の中に小豆から指先くらいの大きさのしこりができたり、痛み、かゆみのない発疹が手のひらや体中に広がり、治療しないまま放置すると死に至ることもあります。

直近10年間における報告数の推移は図のとおりです(ただし、2024年は速報値)。全国では2021年以降、報告数の増加が続いており、2024年の報告数は前年をわずかに下回りましたが、依然として報告数の多い状況が続いています。一方、本県の2024年の報告数は前年よりも増加したものの、2022年と同程度であり、近年は概ね横ばいの状態が続いています。また、男女別でも顕著な違いはみられていません。

梅毒は早期の抗菌薬治療で完治できますので、早期発見と早期治療が重要です。症状がある場合や梅毒感染に心当たりがある場合は、医療機関や保健所に相談のうえ、検査を受けましょう。また、梅毒は一旦完治しても、再感染しますので、感染前はもとより、発症後であっても予防は大切です。

梅毒の主な感染経路は性的接触ですので、性交渉の際はコンドームを適切に使用しましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞[梅毒\(厚生労働省 HP\)](#)



梅毒

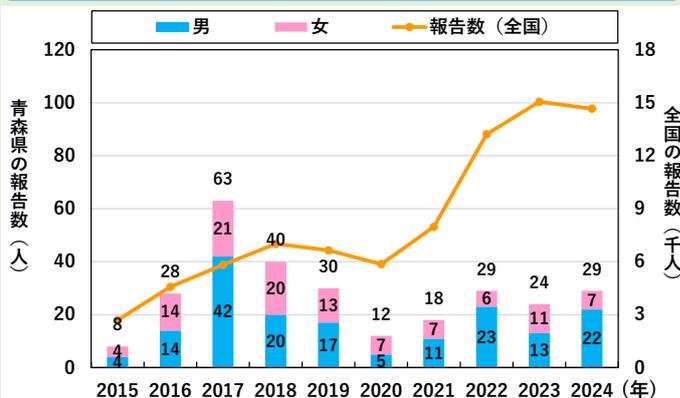


図: 届出件数の推移 (2024年は速報値)

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核(二類感染症)：八戸市1人 (2025年計:16人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)：弘前1人、上十三1人 (2025年計:4人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類感染症)：弘前2人 (2025年計:3人)
- ・百日咳(五類感染症)：上十三1人、むつ1人 (2025年計:32人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日 報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2025年第1週～2025年第8週)

- ・第8週の患者報告数は158人であり、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは148人【A型：144人、B型：4人】でした。

保健所管内別報告数(人)

週	1	2	3	4	5	6	7	8
保健所名								
東地方+青森市	347	298	148	120	68	57	34	21
弘前	151	153	105	73	50	47	33	32
三戸地方+八戸市	444	303	160	78	55	44	42	17
五所川原	182	152	103	117	106	41	59	30
上十三	346	283	138	119	197	76	78	53
むつ	251	152	75	60	25	17	10	5
合計	1721	1341	729	567	501	282	256	158

A型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	1	2	3	4	5	6	7	8
保健所名								
東地方+青森市	345	277	135	118	65	56	31	19
弘前	151	153	104	69	49	47	33	32
三戸地方+八戸市	421	298	157	78	55	41	38	17
五所川原	181	152	102	116	103	40	58	29
上十三	339	264	129	114	181	69	71	44
むつ	222	133	73	52	22	15	9	3
合計	1659	1277	700	547	475	268	240	144

B型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	1	2	3	4	5	6	7	8
保健所名								
東地方+青森市	1					1	1	1
弘前			1	4	1			
三戸地方+八戸市								
五所川原	1		1	1	3		1	1
上十三	1	1	1	1		2	1	2
むつ		3						
合計	3	4	3	6	4	3	3	4

年齢区分別(人)

週	1	2	3	4	5	6	7	8
年齢区分								
～5ヶ月	9	4	2	2	1	2		
～11ヶ月	25	15	9	3	7	3	3	1
1歳	63	55	32	20	17	9	7	12
2歳	45	57	28	27	9	13	11	6
3歳	36	49	25	19	17	15	13	1
4歳	37	45	27	20	19	13	15	8
5歳	39	44	36	36	24	15	14	3
6歳	42	50	35	29	25	13	17	8
7歳	36	35	25	44	41	18	10	5
8歳	24	30	31	36	37	16	15	10
9歳	26	38	24	24	29	12	16	11
10～14歳	95	95	72	98	89	49	37	23
15～19歳	63	43	31	27	31	14	7	11
20～29歳	228	76	55	15	11	8	4	4
30～39歳	173	108	47	36	46	9	11	5
40～49歳	197	143	57	40	30	19	22	16
50～59歳	220	134	54	35	25	21	11	13
60～69歳	140	110	52	25	18	16	17	4
70～79歳	104	98	35	19	11	7	13	9
80歳以上	119	112	52	12	14	10	13	8
合計	1721	1341	729	567	501	282	256	158

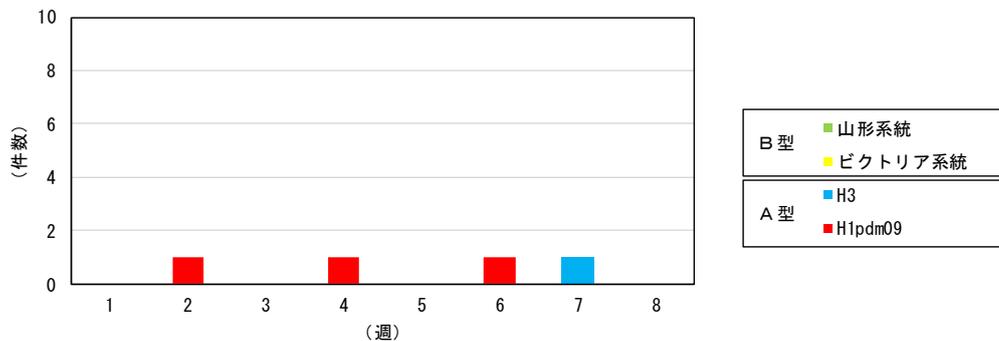
VI 県内インフルエンザウイルス検出情報（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2025年								直近5週間 合計	2024/2025 シーズン 合計
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週		
提出検体数		0	3	0	1	1	1	1	1 (1)	5 (1)	14 (1)
A型	H1pdm09		1		1		1			2	7
	H3							1		1	1
B型	ビクトリア系統									0	0
	山形系統									0	0
合計		0	1	0	1	0	1	1	0	3	8

注1) 2024/2025シーズンは2024年第36週（9/2～9/8）～2025年第35週（8/25～8/31）

注2) 提出検体数の（ ）内の数は、現在検査中の検体数

インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025年第5週～2025年第8週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
5	梅毒1人 百日咳3人 後天性免疫不全症 候群1人	レジオネラ症1人				百日咳2人
6	百日咳2人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 百日咳1人	百日咳1人			
7	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人 百日咳2人	クロイツフェルト・ヤ コブ病1人 梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症2人 レジオネラ症1人 百日咳2人		百日咳1人	
8		腸管出血性大腸菌 感染症1人 侵襲性肺炎球菌感 染症2人			腸管出血性大腸菌 感染症1人 百日咳1人	百日咳1人

VIII 結核(二類感染症)（2025年第5週～2025年第8週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
5	1			1		1
6		1			2	
7	1			2		
8			1			

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025年第1週～第7週までの累計）

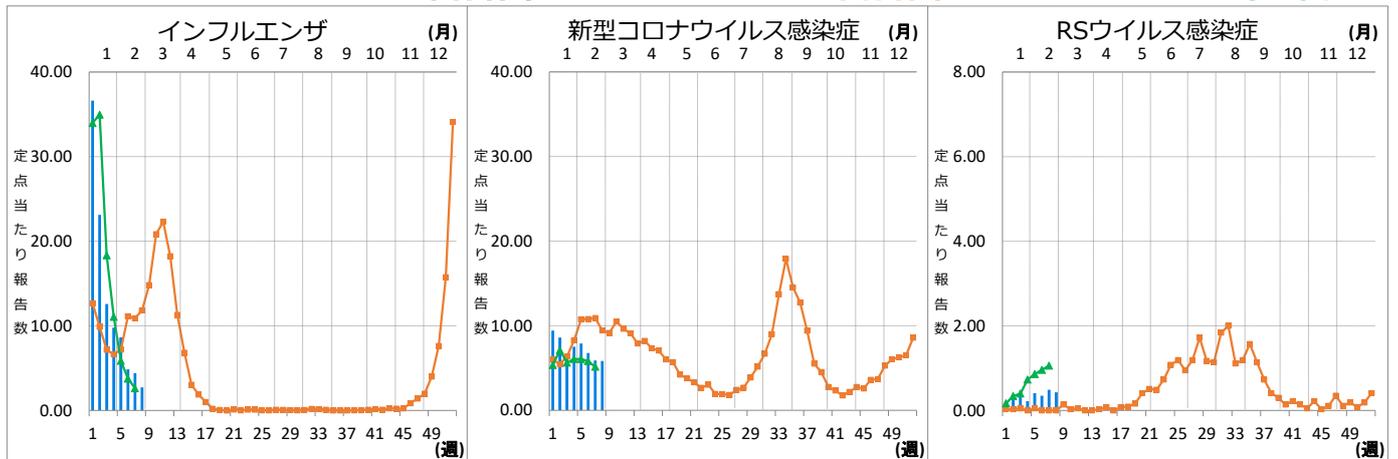
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	回帰熱	コクシジオイデス症
累積報告数	1524	3	5	185	4	42	16	3	1	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	3	30	23	1	4	208	52	21	230	4
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)
累積報告数	133	4	23	258	90	3	135	16	780	66
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アンネトバクター感染症		
累積報告数	1584	22	11	9	1474	2	3	1		

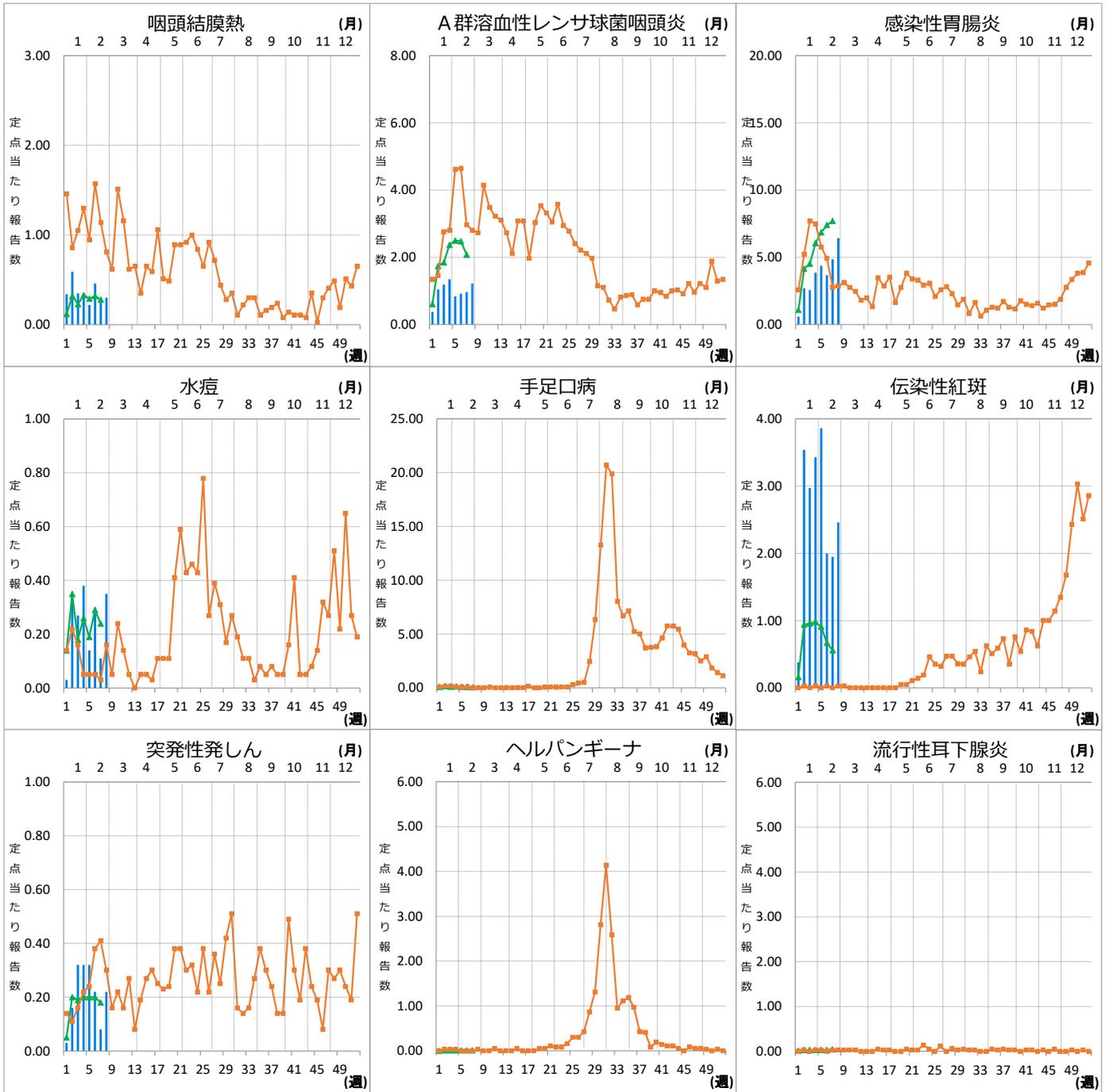
青森県（2025年第1週～第8週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	16	4	1	2	2	1	2	1	1	3
分類	五類	五類								
疾病名	梅毒	百日咳								
累積報告数	3	32								

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2025年第8週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ■は2025年青森県、■は2024年青森県、▲は2025年全国





XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2025年第8週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は 2025年青森県、 は 2024年青森県、 は 2025年全国

